



阿蘇で高校生登山競技九州大会



▲ 阿蘇青少年交流の家で行われた開会式の様子

全国大会への切符をかけた、第54回全九州高等学校登山競技大会が7月9～10日、往生岳、杵島岳、俵山などの阿蘇一帯の山々で行われ、各県予選を勝ち抜いた代表チームが競技に挑みました。

阿蘇登山は、草原の山として美しさが知られるだけでなく、岩場が難しい、冬は氷の壁ができアイスクライミングができる箇所があるなど、登山のあらゆる魅力があるのが特徴とされます。日陰が少ないのも特徴で、阿蘇登山には、日差しから身を守る対策が必要とのこと。これらを踏まえて高校生選手が、登山、テント設営、炊事、行動、知識等の審査からなる競技にチーム力を生かし頑張りました。

若者たちが地域興しに立ち上がり、「なべづる大学」開講



西小園、西湯浦、湯浦、南宮原からなる鍋釣地区の若者48人が7月5日、地域づくりを目指す「なべづる大学」(今村隆孝学長)を開講しました。

鍋釣地区は農村地域ながら専業農家が減りほとんどが兼業農家となっています。しかし、20歳から49歳までの青壮年が200人以上も暮らしているのが特徴とあって、ぜひ、この活力を地域のために使い「全国どこにもない農村に」また「先輩たちから農業や地域のことを教わり地域に恩返ししたい」との思いから園田浩文さんらが発起人となり開講に至りました。

今後は、交流・環境保全・歴史・イベント・情報部門を展開しながら、元気なまち!を、なべづる地域から発信していく考えです。

理科の学習用に メダカ1,700匹を寄贈

長洲町で鯉などの観賞用魚販売を営む牛島辰喜さんが「阿蘇市の子どもたちに役立ててください」と、メダカ 1,700 匹とメダカの卵を寄贈されました。

牛島さんは、仕事で阿蘇市の方々にお世話になっているからと毎年寄贈されています。各小学校に届いたメダカは早速子どもたちが待つ水槽に移されました。



▲ 日吉教育長にメダカを渡す牛島さん(左)

(お詫びと訂正)

広報あそ7月号8ページに掲載の「あそばーい!」の記事で、和太鼓演奏を披露したのは、「古城保育園まどか学童クラブ」でした。また、10ページ掲載の日本拳法全国大会出場選手で下記のとおり誤りがありません。お詫びして訂正いたします。

(正)井芹大輔さん (誤)井芹大輪さん

阿蘇高校で郷土料理講習会



阿蘇中央高等学校(阿蘇高校)の2～3年生の生徒が家庭科学習の一環で7月に3回に分かれ、郷土料理実習に取り組みました。講師は阿蘇市生活研究グループの会の会員20名で、特産の高菜を使った「高菜飯」をはじめ「冷やし汁」「きんぴらごぼう」「まぶし団子」などを作りました。

生活研究グループによる指導は毎年行われており、多くの生徒たちが郷土料理を身につけて巣立っています。今回、実習をした生徒達も「ぜひ、家でも挑戦したい」と大変意欲的に取り組んでいました。